

令和4年5月14日（土）第55回 看護宣誓式が行われました。

第55回 看護宣誓式

看護宣誓式とは
看護の道を志す者
としての自覚を高
め、臨地実習に向
け、気持ちを新た
にするために行わ
れている式です。

新しい看護の道を切り開いたフローレス・ナイチンゲール（1820-1910）から受け継いだキャンドルの灯りを全員が手にともし、心をひとつに「ナイチンゲール誓詞」を唱和します。

* 宣誓生徒の感想

- ナイチンゲール誓詞は新学期が始まってから毎朝練習してきました。72名全員で声を合わせるために本番前まで不安が残り続けていました。しかし、本番では声量が大きく声が揃っていたので、みんなの心が一つになったと感じました。
- 宣誓式が始まりナイチンゲールからろうソクの火を受け取り、名前を呼ばれると、それまでの緊張感は落ち着き「看護師になる。」という志を再確認することが出来ました。 実行委員を代表してクラス全員で



* 宣誓式に参列した2年生の感想

宣誓生の言葉から看護の道に進んでいくことへの強い意志や希望が感じられました。特にナイチンゲール誓詞斉唱では「われはわが力の限り、わが任務の標準を高くせんことを努むべし」がとても印象に残っています。また、一人ひとりの目指す看護師像をしっかりとって過ごすことが大切だと感じました。ナイチンゲールからろうソクの火を受け取った時は「看護の精神を受け継いでいるのだ」と感じる事が出来ました。看護師は患者さんやご家族を中心に看護を実践し、さらに人間としての尊厳を守ることがいかに大切なのかをナイチンゲール誓詞の内容から痛感させられました。

1年後までに私は「何事もテキパキと行動できる。」という看護師像を目指して多角的視点から物事を考えられる自分に成長したいです。患者さんはどのような生活を送ってきたいかなど患者さんのQOLを考慮して、その患者さんの幸福の実現するためにも多角的視点で考える必要があります。そのためには「観察」が大切です。それは患者さんの情報が多いほど多角的視点であせすめんとができるからです。



*宣誓式に参列した中学生の感想①（弥富北中）

私が一番心打たれたのは、宣誓生の皆さんのお話しとナイチンゲール誓詞で、今までの生活で患者さんと向き合って得たもの、得た気持ちなどが凄く伝わってきて凄く感動したし、将来自分もあの様になりたいと心強く思えるような式で自分が想像しているよりも遥かにジーンときて凄く心にしみました。



*宣誓式に参列した中学生の感想②（佐織西中）

生徒の皆さんの志の強さとかが感じられて凄くカッコ良かった。辛そうとか大変そうとか、マイナスな事ばかりを想像していたけれど、生徒の方の誓いの言葉や実体験などを聞いて、辛さの中にも喜びや感動があるのだなと思った。自分の看護に対する志の強さも強くなった。



*宣誓式に参列した中学生の感想③（瑞穂ヶ丘中）

堂々とした姿やキャンドルを受け取る際の決意を固めたような表情に胸を打たれました。一人一人の表情が見れる様、舞台横に映し出されており、より感動深くなっていたと思います。

「ナイチンゲール誓詞」を読み上げる際に、どこことなく会場の雰囲気の変化したなと感じ、私もこうなれたらと夢を抱きました。素晴らしい式を見させていただき、ありがとうございました。



*宣誓式に参列した中学生の感想④（山王中）

三年生の方たちが色々な実習を受けての感想や、どうして看護師になりたいと思ったのかという気持ちを聞くことが出来て良かったです。3年生一人一人が「将来どんな看護師になりたいのか」という熱い思いを語られ、私も今後どんな風に過ごしていこうかという事を気づかされました。



●○お知らせ○●

8/19（金）・20（土）第2回学校見学体験会

コロナ禍ではありましたが、看護宣誓式を見学してもらう形で見学会を開催しました。第2回の学校見学会では、実際に触れて！感じて！看護体験！！ができます。在校生に学校の様子や学習・病院実習について直接聞くこともできます！

詳細は6月中旬頃に各学校へ案内チラシを配布させていただきます。ぜひ、ご参加ください。

